

公益法人協会 「東日本大震災 草の根支援組織応援基金」 配分申請書

2018年 1月 20日**企画内容**

企画題目	自然体験活動の拠点施設整備事業								
金額	5	0	0	0	0	0	円	実施期間	2018年 <u>4</u> 月～ <u>10</u> 月
事業概要	<p>当団体が管理する栃木県の自然体験活動の拠点施設「冒険遊び場」において、遊具やキャンプサイト等を増築する。その施設を、放射能汚染により自然の中で遊べなくなった福島県内の子ども達に開放し、子ども達に豊かな発想、発見で遊びこむ機会を提供する。遠方に住む子ども達のために福島県主要都市から無料送迎バスを運行する。</p> <p style="text-align: right;">被益者数 約 <u>300</u>人</p>								

事業実施者 ※ 当協会からの連絡は、連絡責任者宛となります。

代表者氏名	公益太郎	所属・役職:	一般社団法人里山自然学校、理事長
連絡責任者	公益二郎	所属・役職:	一般社団法人里山自然学校、総務課長
連絡先	E-mail: info@shizen.com TEL: 024-000-0000	住所: 〒 000-0000 福島県福島市〇〇町 1-11	
実施団体	一般社団法人里山自然学校		
設立年月日	西暦 <u>2005</u> 年 <u>4</u> 月	法人格の種類	一般社団法人
設立目的	子どもたちが自然の中で豊かに遊び活動し、人として大切な五感を磨き生きる力を育み、その子らしく成長していくことを見守る目的で設立された。		
活動内容	当団体は、自然の中で遊ぶ活動を主として実施しており、子ども達の豊かな創造性、健康、運動神経の発達、集中力を育む活動を展開している。		
活動実績	震災直後に広域避難所で炊き出しを50回実施した。2011年5月からは原発事故の影響を受けた子ども達を対象に、栃木県にある「冒険遊び場」を開放し、現地への無料送迎も開始した。現地では農業体験教室や里山自然教室などを開催している。		
主な活動場所	栃木県那須町		
法人URL	http://www.*****.html		
年間総収入額	1,000,000円	年間総支出額	1,000,000円
配分金送金指定銀行口座	福島銀行 福島支店、口座番号 <u>111-11111</u> 口座名義(フリガナ) <u>里山自然学校 (サトヤマシゼンガッコウ)</u>		

推薦団体・ご担当者 ※任意。但し法人格がない団体の場合は必須。

推薦団体・ご担当者名	〇〇復興支援センター
------------	------------

事業計画

<課題の所在と事業の目的>

2011年3月の原発事故の影響により、現在の福島県では、子供たちが除染されていない自然の土に触れることが非常に難しい状況です。幼児期に五感を使う体験は、その子の一生を左右するといつていいほど重要です。当団体は、子どもに保養の機会を提供することで子どもの生活環境を守り、子どもの豊かな心を育む活動を実施します。

<実施内容・方法>

4月に、当団体が管理する自然体験活動の拠点施設「冒険遊び場」において、子ども達が遊べる遊具やキャンプサイトの整備を行う。5月から同施設を再開放し、福島県内の主要都市から子供たちが遊びに来れるよう無料送迎バスを運行する。

<成果と波及効果>

冒険遊び場を開放し、福島県内の子ども達を自然の中で遊ばせることで、彼らの自尊感情を育て、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる将来の日本を担う大人に育つことが期待される。

助成金支出計画

費目	金額	計算根拠
旅費等移動関係費用	20万円	ガソリン代 @2,000円×100回（5月～10月）=200,000円
遊具設置費用	10万円	滑り台 50,000円 砂場 50,000円
キャンプサイト整備	20万円	共同炊事場の設置費 100,000円 共同トイレ設置費 100,000円
	万円	
	万円	
	万円	
合計		50万円

※費目の例:物資・機材購入、旅費等移動関係費用、会場設営・撤去費用、人件費・謝金、通信費、準備会議費用、広報・宣伝費など